

川のツカйкаタ

様々な企画を交えながら、これからの信濃川・大河津分水のツカйкаタを楽しくお話しするイベント「川のツカйкаタ」が開催されました。



日時：令和7年2月22日(土)10:00～12:30
会場：信濃川大河津資料館
人数：73名
共催：つばめ若者会議れつつばめ
Love River Net、燕市
後援：国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
NPO法人信濃川大河津資料館友の会
協力：新潟経営大学中島ゼミ、株式会社エコノス



地元小学生からの大河津分水クイズや、ゲストを交えた川トークなど盛りだくさんの企画で、大変盛り上がりました。



特別ゲストの遠藤麻理さん。イベント開始の挨拶とともに大河津分水に対する想いをお話いただきました。



地元の小学生による大河津分水クイズは、マニアックな知識を問われ、大人もうなる内容でした。



大河津分水カルタ合戦では、子どもたちが壁面に下げられた絵札を夢中になって取っていました。



大河津分水や桜があしらわれたお菓子を選ぶ参加者たち。それぞれのパッケージを眺め、大河津分水に思いを馳せます。

大河津分水イベントレポート 2024



大河津分水をモチーフにした金属酒器の解説。遠藤さんが実際に水を注いで使用感を体感しました。



大河津分水の砂を詰めたアクセサリ「燕こびん」の作成。子供も大人も夢中で取り組みました。



信濃川河川事務所若手職員やつばめ若者会議メンバーと川についてのトークショーも盛り上がりました。



館内イベント後、遠藤さんと参加者の皆さんで桜の植樹を行いました。

参加者の声



- ・大河津分水近郊に住んで早60年以上になります。時々資料館に訪問していましたが、今回の企画で新たな発見と知識を得られました。大変楽しかったです。
- ・小学生の方々の発表がフレッシュで良かったです。「燕こびん」のワークショップは、久々のモノづくり体験で楽しく取り組みました。
- ・ゲストの遠藤麻理さんの話が楽しかったです。「燕こびん」を作るのも面白かったし、大河津分水の絵を使ったお菓子がいろいろあるのを初めて知りました。
- ・自分の子どもが出るので付き添いで参加しました。お菓子の包装紙に、大河津分水や堰の絵が描いてあるのを知れたのが良かったです。
- ・若い世代の皆さんの自由な発想が大変面白かった。自分にとっても勉強になりました。